

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。
予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。
検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が
変わりました

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第51号をお届けします。バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

先日背中と腰を痛めてしまいました（先月号で心配していた胸部CTは問題なかったのでこの症状とは関係ありません）。改善後、恐る恐る再開したゴルフの練習では当初絶好調でした。でも直ぐにまた普段の状態に戻りました。よく言われることですが、自転車は一旦乗れるようになれば忘れることはないのに、何故ゴルフは・・・？野球の守備にはスランプは少ないのに、打撃にはスランプがある。どうして・・・？個人的には次のように考えています。自転車や守備は体の迅速な反応で主に「小脳」（体のバランスを司る脳）が働いています。一方でゴルフや打撃は構えている間にあれこれ「大脳」（理屈を考える脳）を使ってしまうことがスランプの原因の一つのようです。構える前に「大脳」を使ってよく考え、方針を決め、構えたら「小脳」の反応に任せることが重要なようです。名選手イコール名指導者ではないともよく言われます。自分のプレーは「小脳」（体の反応）で何とかできますが、教えるためには「大脳」を使って言葉で理論的に表現する必要があるからなのかもしれませんね。

今月の話題は『大脳』的対応 『小脳』的対応です

人間の脳の活動はとても複雑であり、一つの行為を完遂するためには脳の多くの部分に関わっていると考えられています。ですから、あくまでも個人的な見解、例え話ですが、人間の行う日々の仕事にも『大脳』的な作業と『小脳』的な作業があるように思います。先日テレビである製品の製造工程が紹介されていました。魅力ある製品を作るための度重なる議論（『大脳』的作業）の映像が終了すると、ベルトコンベアーを流れる部品を迅速に正確に製品へと組み立てる場面が変わりました。後者の作業はむしろ『小脳』的作業と言えるのかもしれません。クリニック内においては、患者さんのご要望に対し、じっくり考えて答えを出す『大脳』的対応が最も大切と考えています。しかしながら、よく考えた後には迅速な『小脳』的対応が喜ばれるのではないのでしょうか。医療従事者、事務職に関わらず、患者さんのご要望に対して、熟慮の上の丁寧さを大切にしながら、一旦方針決定後は迅速な対応ができる、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

◇当院からのお願い◇

- ◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。
70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。
- ◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。
- ◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック